

解答＋解説書

設問1つにつき、大きく2ページを使い、
約200ページに渡って丁寧に解説。
読みやすさ抜群で下級生にも使いやすい！



※表紙イメージは
2022年度のものです。

深部静脈血栓症の病態を確認しよう

42 下肢の腫脹・疼痛・発熱により疑われるリスクがあるのはどれか。

- ① 中央静脈
- ② 肺動脈
- ③ 腎動脈
- ④ 大腸動脈

解説

深部静脈血栓症は、静脈血が固まって下肢の腫脹や痛みを生じ、重症化すると肺塞栓症を引き起こす可能性があります。下肢の腫脹・疼痛・発熱により疑われるリスクがあるのは、中央静脈、肺動脈、腎動脈、大腸動脈のうち、下肢の静脈である①中央静脈です。

POINT

- ① 中央静脈は、大腸動脈から静脈血を受け取り、心臓へ送り出す役割を担っています。中央静脈は、下肢の静脈から静脈血を受け取り、心臓へ送り出す役割を担っています。中央静脈は、下肢の静脈から静脈血を受け取り、心臓へ送り出す役割を担っています。
- ② 肺動脈は、心臓から肺へ静脈血を送る役割を担っています。肺動脈は、心臓から肺へ静脈血を送る役割を担っています。
- ③ 腎動脈は、腎臓へ静脈血を送る役割を担っています。腎動脈は、心臓から腎臓へ静脈血を送る役割を担っています。
- ④ 大腸動脈は、大腸へ静脈血を送る役割を担っています。大腸動脈は、心臓から大腸へ静脈血を送る役割を担っています。

CHECK POINT

- 深部静脈血栓症は、下肢の静脈から静脈血を受け取り、心臓へ送り出す役割を担っています。
- 中央静脈は、大腸動脈から静脈血を受け取り、心臓へ送り出す役割を担っています。
- 肺動脈は、心臓から肺へ静脈血を送る役割を担っています。
- 腎動脈は、心臓から腎臓へ静脈血を送る役割を担っています。
- 大腸動脈は、心臓から大腸へ静脈血を送る役割を担っています。

図解

下肢の静脈系と動脈系、肺動脈系、腎動脈系、大腸動脈系の図解が示されています。

深部静脈血栓症の病態

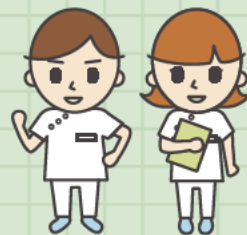
深部静脈血栓症は、下肢の静脈から静脈血を受け取り、心臓へ送り出す役割を担っています。中央静脈は、大腸動脈から静脈血を受け取り、心臓へ送り出す役割を担っています。肺動脈は、心臓から肺へ静脈血を送る役割を担っています。腎動脈は、心臓から腎臓へ静脈血を送る役割を担っています。大腸動脈は、心臓から大腸へ静脈血を送る役割を担っています。

POINT

深部静脈血栓症は、下肢の静脈から静脈血を受け取り、心臓へ送り出す役割を担っています。中央静脈は、大腸動脈から静脈血を受け取り、心臓へ送り出す役割を担っています。肺動脈は、心臓から肺へ静脈血を送る役割を担っています。腎動脈は、心臓から腎臓へ静脈血を送る役割を担っています。大腸動脈は、心臓から大腸へ静脈血を送る役割を担っています。

見やすいビジュアル解説

関連事項や覚えておきたい知識を、
イラスト・表を通して確認。
カラーのため見やすく、視覚的に知識
を定着できます。



選択肢ごとの細かくわかりやすい解説

選択肢ごとに細かい解説をしており、設問で何が問われているのか・どう答えれば良いのかを深く理解できます。
設問のテーマの重要pointや国試過去問の例題も掲載！

VOICE ご利用校の声

オールカラーなので、勉強が苦手な
学生も楽しく復習できています。